

このメールがお読みにできない場合は[ブラウザで閲覧してください。](#)



<http://www.ceraglobal.org/> | ログイン | 連絡先

2016年6月30日

メンバー各位

CERA ニュースレターへようこそ — 2016年6月

この四半期に国際CERA協会（CGA）は2つの会議に参加、発表を行いました。1つは4月21日～22日にブリュッセルで開催された欧州アクチュアリー会議（ECA2016）、もう1つは英国アクチュアリー会（IFoA）が5月31日～6月2日にエディンバラで開催したAFIR/ERMとの2016年年金・リスク・投資会議でした。その模様が本ニュースレターの記事で紹介されています。

目次：[CERAに関する意識調査](#) | [CERA資格によって周囲から注目される存在になったあなたの仕事はどう変わったか？](#) | [オーストラリア・アクチュアリー会からのニュース](#) | [第2回欧州アクチュアリー会議（ECA2016）が4月21日～22日にブリュッセルで開催](#) | [新しいCERA資格者を心から歓迎！](#) | [オーストラリア・アクチュアリー会のCERA](#) | [DAV：2016年5月にCERA試験を実施](#) | [カナダ・アクチュアリー会からの最新情報](#) | [IFoAがAFIR/ERMとともに2016年年金・リスク・投資会議を開催](#) | [行事予定：7月～9月](#) |

CERAに関する意識調査

国際CERA協会（CGA）は現在、CERAに関する意識を評価するための第2回調査を実施中です。調査のリンクは[こちら](#)です。この調査結果は、CGAがプロモーション活動をさらに推進し、CERAコミュニティを拡大するのに役立つでしょう。

CERA 資格によって周囲から注目される存在になったあなたの仕事はどう変わったか？

アクチュアリー・マガジンの読者は3月号のアーサー・エルス氏の記事をお読みになったことでしょう。そこでは、CERA資格を保有することの優位性やそれが同氏のキャリアにもたらした利点が紹介されていました。建設業界で働く同氏は保険数理のスキルセットを適用することで、同僚たちからはっきり注目される存在になりました。エルス氏は3,000名以上いるCERA資格者の1人にすぎません。CGAは皆様からの投稿をお待ちしています。CERA資格は、抜きんでた仕事に就くのに役立ったでしょうか。非伝統的な分野の組織で働いている方はいるでしょうか。

エルス氏が体験を語ってくれたように、皆様の体験もお聞かせいただけないでしょうか。CGAが[ウェブサイト](#)やニュースレター、加盟アクチュアリー会を通じてCERAコミュニティと共有できるように、キャリアがどのように向上したかに関する短い記事（100～200語ほど）を[CGAにお送りください](#)。

オーストラリア・アクチュアリー会からのニュース

[アポインテッド・アクチュアリー](#)の役割に関するAPRAの見解

オーストラリア健全性規制庁（Australian Prudential Regulation Authority : APRA）は、生命保険と損害保険および保険者に対する保険数理上の助言におけるアポインテッド・アクチュアリー

の役割に関する協議文書を公表しました。詳細については[APRAのウェブサイト](#)でご覧になれます。

2016年ERMセミナー

当会の第8回ERMセミナーが9月20日にシドニーで開催されます。今年のテーマは実用的リスク管理です。日程は1日で、すべての参加者が、戦略的思考に役立つと同時に日常業務も強化する有用な知見と技能をこのセミナーから持ち帰ることを目的としています。セミナーの主要な焦点は、健全性規制の対象となる業種（銀行と保険）です。

セミナーでは、受講者を刺激し、新たなアイデアが討議されるように、強力で議論好きな講師を予定しています。

このプログラムは、CERA資格者を含むすべてのERM実務家にとって非常に興味深いものになると思われませんが、リスク管理の分野で働くことに興味のある方も是非ご参加ください。

当会は、このイベントを軸に人脈作りの機会を設けることを計画しています。オーストラリア国外の参加者のためにウェブ放送を行うことになっていますが、どうか万障お繰り合わせのうえ、この注目イベントに是非直接ご参加ください。

詳細は近々お知らせいたします。

パート III ERM 科目のための新たな ERM ワークショップ

オーストラリア・アクチュアリー会のほとんどの会員は、当会のパート III ERM 科目を修了した後に CERA を取得しています。言い換えれば、英国の ST9 科目を受験し、評価対象とされないワークショップに出席し、「アクチュアリー」の資格を使用するための他の特定の要件を充足することが必要となります。

2016 年の 1 学期から、当会は ERM ワークショップの形態を変更しました。従来 2 日間だった期間を 1 日とし、実務をより重視するとともに、リスク管理分野への就業を考慮することを学生に奨励するために既存の CERA との連携をこれまで以上に深めています。この新形態を取ってからまだ 1 学期しか経過していませんが、これまでの反応は上々です。

当会のパート III ERM 科目に関する詳細は[こちら](#)でご覧になれます。

リスク文化が注目の的に

オーストラリアではいくつかの目立った事件のために現在、金融サービス分野でリスク文化と行動が注目の的になっています。次の[記事](#)では、2 名の当会会員がこの論点に関する見解を示しています。

第 2 回欧州アクチュアリー会議（ECA2016）が 4 月 21 日～22 日にブリュッセルで開催

第 2 回欧州アクチュアリー会議（ECA2016）が 2016 年 4 月 21 日～22 日にブリュッセルで開催され、議長の要請を受けて、国際 CERA 協会のロン・ハースミス会長もそれに出席しました。

ハースミス会長は「CERA の独立性およびグローバル教育の必要性（Independence linked to CERA and global education needs）」と題するスピーチを行いました。会長は、CGA が展示に参加することで、CERA 資格の知名度が上がると同時に、CERA 資格に対する認識が高まるのに役立つという感触を得ました。

このイベントについて[こちら](#)で続きをご覧ください。（別紙 1 参照）

おめでとう！

新しい CERA 資格者を心から歓迎！

過去 3 カ月間に資格を取得した 103 名の新 CERA を心から歓迎します。[CERA ウェブサイト](#)で紹介していますのでご覧ください。

オーストラリア・アクチュアリー会の CERA

オーストラリア・アクチュアリー会は、CERA を保有する会員数が現在 265 名（正会員の 10.25%）となったことをお知らせできることを喜ばしく思います。

DAV : 2016 年 5 月に CERA 試験を実施

2016 年 5 月 21 日に DAV（ドイツ・アクチュアリー会）の CERA 試験が実施されました。DAV および EAA の全パートナーを対象に様々な場所で実施されたモジュール 1、2、5 および 6 の試験を 182 名の受験生が受けました。

採点が終了した後に何人かの会員が新たに CERA 資格を取得すると DAV は期待しています。

次回の試験は 2016 年 10 月に実施される予定です。

カナダ・アクチュアリー会からの最新情報

ERM 記事の転載

米国アクチュアリー会とのジョイントリスクマネジメントセクション（Joint Risk Management Section : JRMS）が、カナダ・アクチュアリー会の最近の小冊子「ERM: そのガバナンスの方法（Enterprise Risk Management: How do we govern it?）」から一連の記事を選んで出版することになりました。それらの記事は今後刊行されるリスクマネジメント・ニュースレターに掲載される予定です。

SKIs

「スキルおよび知識一覧（skills and knowledge inventories）」（SKIs）は、CIA 会員が継続的教育（continuing professional development : CPD）の要件を充足するのを支援することを目的とした文書です。それ以外の SKIs の利点として、準会員によるスキルセット開発の支援、および学生がアクチュアリーのカリヤを検討する際のキャリアプランニングの手助けなどが挙げられます。

現在、ERM を含むいくつかの実務分野の SKIs が利用可能です。[こちら](#)からそれをご覧になれます。

正式な連携の要請

ERMAC（ERM 応用委員会）は、アイデア、情報、手法および成功事例の共有を他の委員会や外部組織に働きかけることを優先課題としています。これは当委員会にとって極めて有意義な課題であり、各国で ERM を支援および促進している他のアクチュアリー会にも呼びかけを拡大して、当会への接触と共有の開始をお願いすることと

いたしました。第一歩を踏み出すために、どうかCIAのレス・ダンドリッジ広報・渉外担当理事にご連絡ください。

ERM 実務基準およびガイダンス

ERMACは「ERM 実務基準」および「ガイダンス資料」の作成、承認および配布が必要となる時期がいずれ到来すると考えています。ERMACは、CIAにERM実務委員会を新設することを支援するためにワーキンググループを設置しました。このグループは、今年の秋までに実務評議会（Practice Council）に報告する提言を作成するために、実務評議会副議長と協力して作業を進めています。

IFoAがAFIR/ERMとともに2016年年金・リスク・投資会議を開催

CGAは、ブリュッセルで開催された2016年欧州アクチュアリー会議で成功を収めた後、英国アクチュアリー会（IFoA）の年次リスク・投資会議にも参加しました。今回の会議は、その年金分野および国際アクチュアリー会のAFIR/ERMとともにエディンバラのEICC（エディンバラ国際会議場）で開催されました。

このように参加会議を拡大していくことにより、現在および将来のCERA資格者の影響力を評価するとともに利益増進を図ってくれる様々な実務分野やアクチュアリー会から派遣された代表者たちと会う機会が得られました。

このイベントの成功に関する詳細は[こちら](#)でご覧になれます。

行事予定：7月～9月

EAA セミナー：オペレーショナルリスクおよびレピュテーションリスクに対する現代的な方法

9月8日～9日、アイルランド、ダブリン

EAA：CERA モジュール：分類およびモデリングのリスク

9月19日～21日、クロアチア、ザグレブ

2016年ERM セミナー

2016年9月20日、シドニー

2017年3月30日掲載版

EAA : CERA モジュール : リスク管理ツールおよび手法

9月22日～23日、クロアチア、ザグレブ

シンガポール・アクチュアリー会 : ERM 会議

9月27～28日、シンガポール

上記イベントの他にもお勧めのイベントがございます。詳しい情報については、CGA の[ウェブサイト](#)の events ページをご覧ください。

このメールは、メールアドレスが CGA のメールリストに登録されている方に送信しています。[メールアドレスは表示していません。]

CGA が送信するメール形式のニュースレターすべての配信中止を希望する場合、[ここ](#)をクリックしてください。



Global Association

第2回欧州アクチュアリー会議における国際 CERA 協会

2016年4月21日～22日、ブリュッセル

第2回欧州アクチュアリー会議（ECA2016）が2016年4月21日～22日にブリュッセルで開催され、議長の要請を受けて、国際 CERA 協会のロン・ハースミス会長もそれに出席しました。

ハースミス会長は「CERA に関連する独立性およびグローバル教育の必要性（Independence linked to CERA and global education needs）」と題するスピーチを行いました。会長は、CGA が展示に参加することで、CERA 資格の知名度が上がるると同時に、CERA 資格に対する認識が高まるのに役立つという感触を得ました。



また、私たち（ドーン・マッキントッシュ、ドナ・メルドラム、トーマス・エバンス）は ECA2016 に出席したことにより、加盟アクチュアリー会の窓口担当者、レビューパネルのボランティアおよび協定書理事会メンバーと会う機会を得られました。

座席には、既存の CERA 資格者や CERA 資格の取得に興味がある参加者など、様々な人がひっきりなしにやって来ました。私たちは話をした人すべてから名刺を頂戴し、英国に帰国した後、フォローアップの電子メールを差し上げました。CGA のサービス品も人気があり、帰国時にはほとんど残っていませんでした。



興味深くかつCERA資格を推進するにあたり新たな手段の発見という見地から有用と感じられたスピーチを以下に挙げます。

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| コルム・フィッツジェラルド | リスクテイクおよびリスク管理に対する心理的態度の評価 |
| ジャンヌ・カイッポ／ミカ・ナートウラ | アクチュアリアルな観点に立ったデータ分析論 |
| ペトラ・ワイルドマン | サイバーリスク |
| タピオ・アールトネン | アクチュアリー専門職と倫理 |
| イレヌ・パターソン | スキルの最大化 — および異なる分野で活躍できる潜在力 |
| クルト・ランブレヒツ | 核廃棄物の問題の助けとなる保険数理的方法 |
| ロン・ハースミス／クラウド・マター | CERAに関連する独立性およびグローバル教育の必要性 |
| ダニエル・スミス | 航空会社がアクチュアリーを必要とする理由 |
| マイク・クラーク | 環境資源を巡る倫理 |
| ジェームズ・マッキンタイア／チャーリー・ウルマン | 気候変動 |

CGAのマーケティング戦略の次の要素は雇用主への働きかけであることから、パターソン氏および同氏のスピーチは有用な情報源でした。同氏は親切にもプレゼンテーションの中でCERAについて、またこの資格の取得によってどのようにキャリアを円滑に変更できるかについて触れてくれました。同氏は5月末にエディンバラで開催される英国アクチュアリー会(IFoA)の年金・リスク・投資会議に出席するとのことです。その会議は、同氏と情報を交換し、次のステップについて議論する良い機会となるでしょう。